



理 事 長 報 告



第5代理事長 六浦 基晴

私たち2019年度の一般社団法人北名古屋青年会議所は、『一生懸命～自らの探究心が新しい北名古屋を形造る～』をスローガンに掲げ、発信する側であるメンバーにも、受け取る側である市民の皆さまにも、主体性を持ってこのまちに目を向けるきっかけ作りを心がけ、一人ひとりが成長できるような仕組みを構築するという目標を定めて一年間活動に邁進して参りました。

結果、力が及ばないところも多々あり、このまちを、そして市民の皆さまの意識を大きく変え、また成長させる事はできませんでしたが、それらの過程から生まれる一つひとつの取り組みが小さな波紋となり、徐々に広がっていく。そう感じる場面がいくつもありました。

地域とつながること、北名古屋市民とつながること、行政とつながること、メンバー同士がつながること。そして、そのことが起点となり、膨らむ新しい考え方。様々な場面で垣間見ることができました。小さい事ながらも、これらは青年会議所の醍醐味と言っても良いと私は考えます。

単年度制という青年会議所の組織運営は、継続性がないという一見、悪い面だけが見えてしまうことが多いですが、不連続の連続という言葉もあるように、小さくても一つずつの積み上げが自分自身を成長させ、まわりを成長させ、ひいては地域全体を成長させることができます。ただし、それには自分自身の力強い決意が必要です。今後はそういった自分自身をいかに成長させていくかが、このまちの成長にとって重要なポイントになってくるのではないのでしょうか。そして、その先導役を将来の北名古屋青年会議所メンバーが担うことを切に願います。

また、本年度は創立5周年という節目の年でもありました。そのことも踏まえ、今後は、これまでの5年間、また現在、更に5年先、10年先というビジョンを見据える力を備える必要があります。その力はメンバーの成長と共にこの北名古屋を大きく変えると思っております。

結びにあたり、2019年度の北名古屋青年会議所の運動に対してご協力いただいた全ての方々に深く感謝申し上げます。そして、このような役職を預らせていただいたご縁に心から感謝申し上げますとともに、第5年度の理事長として一年間、一生懸命活動できたことを誇りに思います。2020年度も、そしてそれ以降も、私たちの運動に対し引き続きのご支援とご協力をお願い申し上げます。私からのご報告にかえさせていただきます。一年間本当にありがとうございました。